

## 1 体調の変化を確実に把握します

ご家庭の協力をいただきながら、毎日の健康観察カードのチェックを実施して、子供たちの体調の変化を確実に把握します。

教職員も、子供たちと同じように毎日検温し、調子が悪い時は、無理をせず休息をとるようにします。

<ご家庭へのお願い>

- 必ず毎日検温し、健康観察カードにお子さんと同居のご家族の健康状態を記入の上、保護者の印（サイン）をお願いします。
- 児童本人や同居のご家族に発熱、風邪症状、倦怠感などが見られる場合は、登校を控えてください。回復後は1日余裕をもってから登校してください。登校後に、同様の症状が出たときは、早退の連絡をします。

## 4 学校生活全般を一から見直し、 日常的な感染防止に対応させます

- マスクを確実に着用するようにこまめに声かけを行います。
- 教職員が確実に見守ることのできる、「手洗いの時間」を日課の中に設定し、手洗いができない場合は適宜手指消毒を行います。
- 給食の時間は、全員前を向いて黙って食べ、おかわりなども教員のみが対応します。
- 縦割り清掃を休止し、トイレ掃除は専門業者が行います。
- 手すりやドアノブなど共用部分を消毒します。

## 2 感染防止教育を徹底します

低学年にもよくわかるよう、感染防止の重点ポイントを本校のキャラクター名に合わせて設定し、基本的な感染防止教育を徹底します。

- ☑マ：マスクを必ずつける
- ☑ツ：机と机・お互いの距離をとる
- ☑テ：手あらいをしっかりとる
- ☑イ：いっしょにがんばろう



三吉小キャラクター  
「マッティ」

## 一人一人の命を守る

～三吉小学校 新型コロナウイルス対応～

本校では、「一人一人の命を守る」をスローガンに、子供たちはもちろん、そのご家族や地域の方、教職員すべての人々の感染防止に全力で取り組みます。

## 5 子供たちの心のケアに努めます

- 保健だより等で正しい情報を伝え、不安をあおることのないようにします。また、人と接することに対する不安が、必要以上に大きくならないう、全職員で子供たちを見守ります。
- 教職員も含め、だれもが罹患する可能性があるにとらえ、感染者・濃厚接触者はもとより、医療従事関係者など、すべての人が偏見の対象とならないう、心の教育を推進します。

## 3 三つの密をできる限り防ぎます

- 常に教室内を換気し、新鮮な空気の中で学習します。
- 教室内の移動できるロッカーを出し、机の間隔の確保に努めます。
- 図書室など、どうしても子供が密になってしまうことが想定される場合は、使用できる曜日を定めるなどし、密な状況を未然に防ぎます。
- グループやペアでの学習は見合わせます。また、感染への不安が避けられない学習内容は他に置き換えます。

R3. 9. 1 更新

## 6 年間の教育活動全般を見直します

子供たちの思いや、教育的価値を大切にしつつも、「一人一人の命を守る」ことを最優先に、年間の教育活動全般を見直します。

